



初等部だより 2月号

鎌倉女子大学初等部

平成30年1月30日

第12号

初等部における英語教育

部長代理 勝木 茂

先週1月22日(月)は、南岸低気圧の影響による降雪で、授業時間を5時間目までとし下校時刻を早めさせていただきました。また、翌23日(火)も降り積もった雪による交通機関の影響や子どもたちの安全を第一に考え、登校時刻を10時30分とさせていただきました。急な変更にもかかわらず、保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

特に今回の変更においては、下校時刻を早めたことにより、帰宅後保護者がいない場合等、そのことにより子どもたちが困ったり不安になったりしないよう、メール配信後、約1時間、保護者の皆様からの必要なお連絡を待つ対応をいたしました。また、帰宅後保護者等がいない可能性があり不安であるという申し出があった子どもたちについては、一旦留め置きとし、当該保護者の方と連絡を取らせていただき適切な方法での下校といたしました。

今回のような非常変災時においては、当然のことではありますが、子どもたちの安全確保が最優先されます。メール配信にてご連絡させていただくことがほとんどかと思われまますので、そのような場合、こまめなメール確認を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

また、様々な災害時においては、メールが使用できないこともあるかも知れません。そのような場合、初等部においては、原則「留め置き」を行い子どもたちの安全確保に努めたいと考えております。どうぞご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、これまでも保護者会等でお伝えさせていただいておりますが、国の小学校学習指導要領の改訂に伴い、2020年度より、小学校5・6年生において外国語(英語)が教科として、(年間70時間:週当たり2時間)同時に、3・4年生においては、外国語活動(年間35時間:週当たり1時間)が実施されます。

今般の外国語科導入の趣旨は、「様々な場面での外国語によるコミュニケーション能力の必要性」「外国語を通じた、言語や文化についての理解と情報を的確に伝える能力の育成」「総合的・系統的な教科としての外国語教育」等です。また、小学校高学年からは、これまでの外国語活動での「聞くこと」「話すこと」のみならず、文字を「読むこと」「書くこと」も導入されるようになります。

外国語科(英語)は、2020年より私立公立問わず全ての小学校5・6年生が実施となります。現在の2年生が、新5年生になった年度ということになります。

初等部においては、現在、1年生から6年生まで全学年において外国語活動を年間35時間(週1時間)実施しています。また、3年生以上の希望者には英語講習(週1回程度)を実施しています。

しかしながら2020年度を見据え、この春より(平成30年度より)3年生以上の外国語活動の授業時間を年間70時間(週2時間)実施することにいたしました。(1・2年生については、従来通り35時間としますが、状況を見ながら70時間とすることも考えています。)このことに伴い英語指導教諭とネイティブスピーカーの英語外国人講師を増員いたします。

また、教育課程(カリキュラム)については、2020年度からの内容を前以て取り入れた初等部独自のものを日本の英語教育の第一人者である東京家政大学大学院教授 太田洋先生監修のもとすでに作成し、新年度よりその教育課程に基づき授業を実施いたします。この教育課程では、これまで以上に、1年生の段階から、外国語(英語)に興味や関心がもてるよう必要に応じて文字を書く活動も取り入れています。初等部では、より充実した英語教育を目指し、近い将来、私立中学校の入学試験に英語が取り入れられても対応できるようしっかりと準備し取り組んでいきます。ご理解のほどどうぞよろしくお願いいたします。